

# 取扱説明書

このたびはNRS製品をご購入いただき、まことにありがとうございます。  
ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見ることできる場所に大切に保管してご利用ください。

## 空気式グラインダ



品番 GR-100KS スロットル式  
GR-100KL レバー式

### 仕様

品番	スロットル式:GR-100KS レバー式:GR-100KL	本体質量 (100mm用保護カバー、 ホイールナット装着時)	スロットル式: 1.36 kg レバー式: 1.45 kg
砥石寸法	100×8×15 mm	全長	スロットル式: 210 mm レバー式: 223 mm
使用圧力	0.59 MPa	本体握り部	48 mm
空気消費量	0.63 m <sup>3</sup> /min	スイッチ方式	スロットル/レバー
無負荷回転速度	13,000 min <sup>-1</sup>	騒音	88 dB

2026.04

**NRS** ニューレジストン株式会社

ホーム  
ページは  
こちら

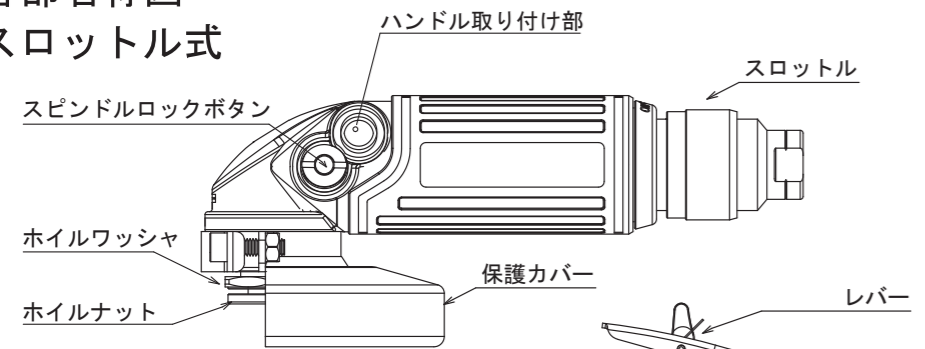


〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野2丁目1番1号  
TEL.(0725) 51-2292 FAX.(0725) 51-2392  
ホームページ <https://www.newregiston.co.jp/>

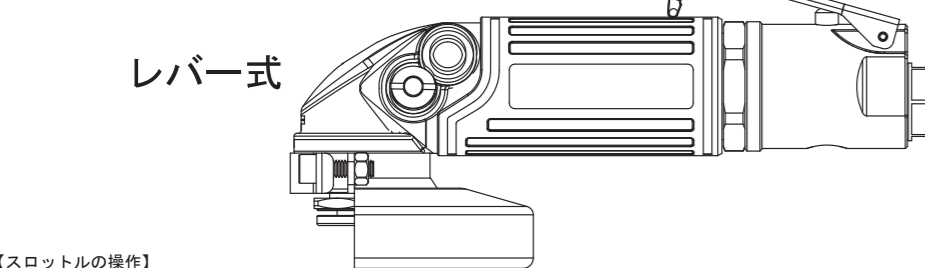
研削砥石のご相談窓口です。お気軽に何でもどうぞ!  
お客様相談窓口 ☎ **0120-466-300**

## 各部名称図

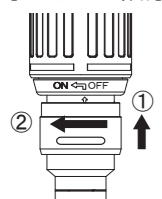
### スロットル式



### レバー式



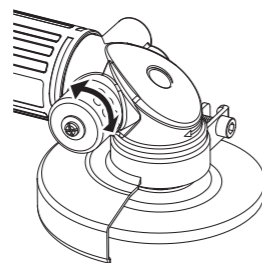
#### 【スロットルの操作】



1. 作動させるときはスロットルを本体側に押し込み(①)徐々にON側に回してください(②)。
2. 停止するとき、スロットルを徐々にOFF側に回してください。

#### 【排気方向の変更】

排気カバーを矢印の方向に回して排気方向を調整できます。



#### 【レバーの操作】

1. 作動させるときはレバーを本体側に徐々に押してください。
2. 停止するとき、レバーを徐々に戻してください。

#### 【加速・減速について】

急激な加速操作は、砥石に衝撃を与え、ひび・われ・かけなどの異常がある場合、砥石が破壊しけがの原因となります。  
急激な減速操作は、ナットのゆるみの原因となります。

※お断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

## 付属品



## ご使用前に



### 警告

ご使用前に次のことを確認してください。  
1～5項については、本体にエアホースを取付ける前に確認してください。

#### 1 使用空気圧力を確かめる

必ず本体に表示してある空気圧力でご使用ください。  
表示を超える空気圧力で使用すると危険な状態になり、砥石や本体が破損する恐れがあります。  
また、本体の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

#### 2 スイッチが切れていることを確かめる

スイッチが入っているの知らずにエアホースを取付けると不意に本体が起動し、思わぬ事故のもとになります。  
スロットル及びレバーがOFFの位置にあることを確認してください。

#### 3 保護カバーの確認

保護カバーは砥石が破壊した場合に使用者を保護するためのものですので、必ず取付けてください。  
保護カバーは、小ネジを少しゆるめることにより任意の角度に動かすことができます。  
調整後は、小ネジを確実に締付けてください。

#### 4 スピンドルロックボタンの確認

スピンドルロックボタンを押して、離れたときに確実に戻ることを確認してください。

#### 5 砥石の確認および取付け

砥石は正規のものか、またひび・われ・かけなどの外観の検査を行ってください。  
砥石は正規の状態に取付けられ十分締付けられているか点検してください。

#### 6 試運転を行う

砥石にひび・われ・かけがあるのを気づかず作業すると非常に危険です。  
必ず安全な場所で試運転を行い、異常がないことを確認してください。

#### ■試運転時間

その日の作業開始前	1分間以上
砥石を取替えた時	3分間以上

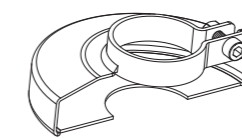
#### 注

- ・本体のスイッチを入れるときは、回転部分が加工材などに接触していないことを確認してください。
- ・新しい砥石を取付け、はじめてスイッチを入れるときは、必ず砥石の露出部から身体を避けてください。

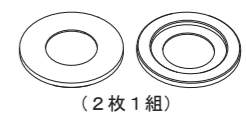
【ホイールワッシャの取付け】  
マシンキーをスピンドルのキー溝に挿入し、ホイールワッシャのキー溝にマシンキーが入るようにホイールワッシャを取付ける

#### ■切断用別売アクセサリ

100mm用  
切断用保護カバー



100mm用  
切断用ワッシャ



## 砥石の取付け・取りはずし



### 警告

取付け・取りはずしの前に、必ず本体からエアホースを取りはずしてください。

#### 1. 取付け方

- ・ホイールナット、ホイールナット用ボルトは、必ず付属の工具を使って十分に締付けてください。
- ・スピンドルを上に向け、ホイールワッシャ用マシンキーをスピンドルのキー溝に挿入します。ホイールワッシャのキー溝にマシンキーが入るようにホイールワッシャを取付けます。
- ・ホイールナットのキー溝にマシンキーが入るようにホイールナットを挿入し、ホイールナット用ボルトで締付けます。

#### 2. 取りはずし方

砥石を取りはずす場合は、上記の取付けと逆の手順に行います。

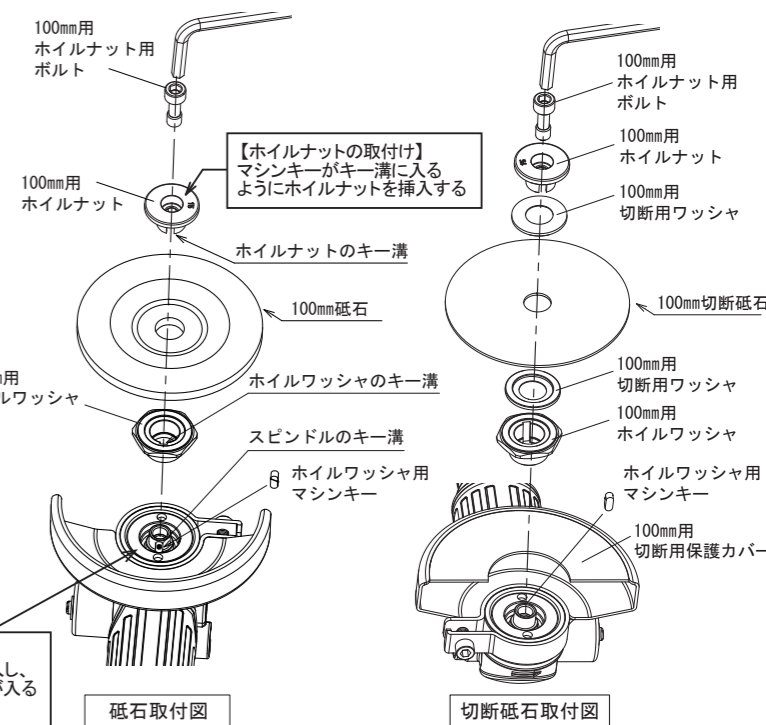
#### 注

スピンドルロックボタンを押して離れたときに、確実に戻ることを確認してください。

## 別売品の取付け

- ・別売品を使用する場合は、各製品の取扱説明書に従い取付けを行ってください。
- ・別売品を使用する場合にも、安全のため保護具を使用してください。
- ・別売品を使用する場合は、各製品の最高使用周速度、または最高使用回転数を越えていないかを確認してください。越えていた場合は使用しないでください。

- ・切断砥石を取付ける場合は、必ず切断用保護カバーを本体に取付け、ホイールナットとホイールワッシャの間に切断用ワッシャを取付けてください。切断用ワッシャは図のように座繰りのある面で切断砥石をはさんでください。



砥石取付図

切断砥石取付図

# 保守・点検

## 1. 各部取付けネジの点検

各部取付けネジでゆるんでいるところがないか定期的に点検してください。

## 2. エア工具の点検・整備・保管

- ・ゴミ、異物などの侵入は故障の原因となりますので、使用後は元コックを止め、本体からエアホースを取りはずし、本体内にゴミが入らないように注意してから保管してください。
- ・作業前、作業後は本体の給気口よりオイルを2～3滴注油し、2～3秒の空回転（無負荷回転）を2～3回行ってください。また、長時間作業の場合は途中でも注油してください。
- ・作業前、作業後はエアフィルタやコンプレッサ内の水抜きを必ず行ってください。
- ・修理・分解はご自分でなさらず、お買い求めの販売店またはニューレジストン株式会社フリーダイヤルまでご連絡ください。

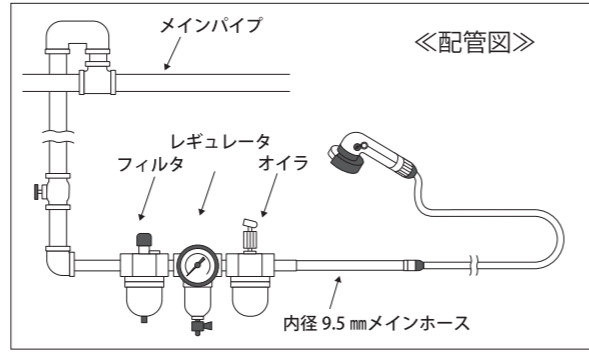
## 3. 本体や付属品の保管

本体や付属品の保管場所として、以下の条件を避けて保管してください。

- × 子供の手が届く場所
- × 温度が急変する場所
- × 雨がかかったり、湿気のある場所
- × 直射日光の当たる場所
- × ガソリンなどの引火物がある場所
- × 落下の恐れのある場所

# 配管

- 3点エアセット（フィルタ・レギュレータ・オイル）は、必ず1セット取付けてください。3点エアセットを使わないと、コンプレッサ内の水分やゴミが本体内に入り、サビや磨耗が発生して故障の原因になります。また、3点エアセットから本体までのエアホースが長すぎると、空気圧力や流量の低下となりますので注意してください。
- 購入後、最初にエア工具を取付けるときや、エアホースを取替えたとき等は配管内やエアホース内のゴミを十分に除去してから取付けてください。
- 配管は下記配管図を参考としてください。



### エア工具を正しく使うための重要事項

エア工具は、基本にそった使い方をしていたければ安全な工具です。しかし誤った使い方や不注意な取扱いをされますと、火災、けがなどの事故につながります。安全作業のため下記項目を必ず守ってください。以下の基本ルールは、労働安全衛生規則・研削盤等構造規格に基づいています。



### 警告

誤った使い方をした場合、死亡または重傷をまねく恐れがあります。

- 作業する場所は、明るくきれいに保ってください。散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- 雨中や湿ったまたはぬれた場所で使用しないでください。引火、爆発の恐れのある場所で、作業を行わないでください。
- 子供など作業員以外を作業場に近づけたり、エア工具やエアホースに触れさせないでください。
- 使用しない場合は、乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- 安全に効率よく作業するために、無理な使用はせず、エア工具の能力に合った速さで作業してください。
- 作業に合ったエア工具を使用してください。指定された用途以外に使用しないでください。
- 髪や衣服、アクセサリーなどが巻き込まれないような服装で作業してください。
  - ・だぶだぶの衣服やネクレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
  - ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- 作業中は安全帽・保護メガネ・防じんマスク・防音保護具（耳栓など）・防護手袋・安全靴などの保護具を着用してください。
- 無理な姿勢で作業をしないでください。常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- 取扱いや作業の方法、周りの状況などに十分注意し、常識を働かせて作業してください。また、疲れているときは使用しないでください。
1. 少なくとも1日に1回は規定回転速度以上の回転が出ていないかをチェックしてください。
2. 騒音に関しては法令および各都道府県などの条例で定める規制があります。
  - 周囲に迷惑をかけぬよう規制値以下で使用されることが必要です。状況に応じ、遮音壁などを設けてください。
3. 回転させたまま、台や床の上に放置しないでください。
4. この取扱説明書及び当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものは、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
5. ご使用前に必ず回転方向を確認してください。
6. 砥石などの回転部に手を触れないでください。
7. 運転中は、工具類や回転部などに手や顔などを近づけないでください。
8. エア工具や付属品は、その能力を超えて使用したり、急激な操作はしないでください。
9. 高い場所では下に人がいないことを確認してから作業してください。また、エア工具は安全で安定した場所に置くようにしてください。
20. 人や生き物などに向けてエア工具を作動させないでください。砥石などの付属品が飛ぶと、けがの危険があります。
21. エア工具にエアホースを取付けるときは、特にスロットル及びレバーがOFFの位置にあることを確認してください。それでもまだ砥石が回転する場合にはただちにエアを切って使用を中止し、点検してください。
22. 砥石を仮締めし、ホイルナットの接触面が均等に砥石にあたり、面振れがないかを確認してから本締めをしてください。
23. ホイルナットの接触面のサビ、異物が付着している場合は除去してください。また、接触面が磨耗または歪み等により正常に接触しないものは、新品と交換してください。
24. ホイルナットは締め過ぎないようにしてください。
25. エア工具を万力等で保持した使い方はしないでください。砥石が破損したとき、けがの原因となります。
26. 加工する物をしっかりと固定してください。クランプや万力などを利用して加工物を固定してください。
27. エア工具は確実に保持してお使いください。始動時は特に注意してください。
28. 砥石の取付けは取扱説明書に従って確実に取付けてください。砥石を取付けた後、芯振れのないことを確認してください。芯振れが大きい場合は、作業中に砥石がはじき返されたり砥石が破壊したりすることがありますので危険です。
29. 砥石の取扱いは、「転がすな・落とすな・ぶつかるな」の3原則を守って、砥石への衝撃は避けてください。
30. 砥石は規定寸法および規定周速度のものを使用してください。砥石の取付け後は、砥石が確実に固定されていることを確かめてください。
31. 砥石は正しい使用面で研削してください。
32. 水・研削液を使用しないでください。
33. 保護カバーを取りはずしての使用は絶対にしてしないでください。砥石が破壊したときけがの原因となります。
34. 外観検査、打音検査を行い、砥石にひび・われ・かけなどの異常がないことを確認してから使用してください。砥石に亀裂があると大変危険です。
35. 砥石などの付属品の取付け・取りはずしの前に、必ずエア工具からエアホースを取りはずしてください。
36. 作業開始前の1分間の試運転と、砥石取付け後の3分間の試運転を必ず行ってください。この間に振動または異常音があった場合はただちにエアを切り、使用を中止し点検してください。
37. 研削砥石に関する安全講習（特別教育）を受けないで、砥石の取替え・試運転を行わないでください。
38. 不必要な無負荷運転はしないでください。
39. エアコンプレッサ以外は絶対に使用しないでください。空気以外の高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）を使うと異常燃焼をおこし、爆発の危険を伴います。
40. 作業前、作業後はエアフィルタやコンプレッサ内の水抜きを必ず行ってください。圧縮空気中の水分が多くなるとグラインダの回転速度が規定以上に上昇することがあり危険ですので、水分を除去する設備が必要です。また、冬季には、空気通路やグラインダの排気口に水分が凍結し、能力が低下しますので注意してください。
41. レバーに手をかけて持ち運ばないでください。機械が不意に回転すると危険です。
42. エアホースを持って工具を運ばないでください。エアホースは鋭利な角に接すると切れやすいので注意してください。
43. エア工具は、注意深く手入れをしてください。
  - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - ・定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店またはニューレジストン株式会社に修理を依頼してください。
  - ・継ぎ（延長）ホースを使用する場合は、定期的に点検し損傷している場合は、交換してください。
  - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
44. 次の場合は、エア工具のスイッチを切り、エア工具からエアホースを取りはずしてください。
  - ・使用しない、または修理する場合。
  - ・砥石などの付属品を交換する場合。
  - ・その他、危険が予想される場合。
45. スwitchを入れる前に、調節に用いた工具類が取りはずしてあることを確認してください。
46. 損傷した部品がないか点検してください。
  - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、またその性能を発揮するか確認してください。
  - ・可動部の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
  - ・スイッチで始動及び停止操作のできない工具は、使用しないでください。
47. 部品の交換の際は、必ず指定された部品を使用してください。
48. このエア工具は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。修理は、必ずお買い求めの販売店またはニューレジストン株式会社にお申し付けください。

### 【キックバックについて】

使用中に砥石が加工する物にはさまったり、引っかかったりしたとき、キックバックが発生することがあります。事故やけがの原因になりますので、次のことに注意してください。

- ・使用中は反動や衝撃などが生じることがありますので、本体をしっかりと保持してください。特に始動時は気をつけてください。
- ・キックバックが発生したときに備えてグラインダが跳ね返る方向に立たないようにしてください。

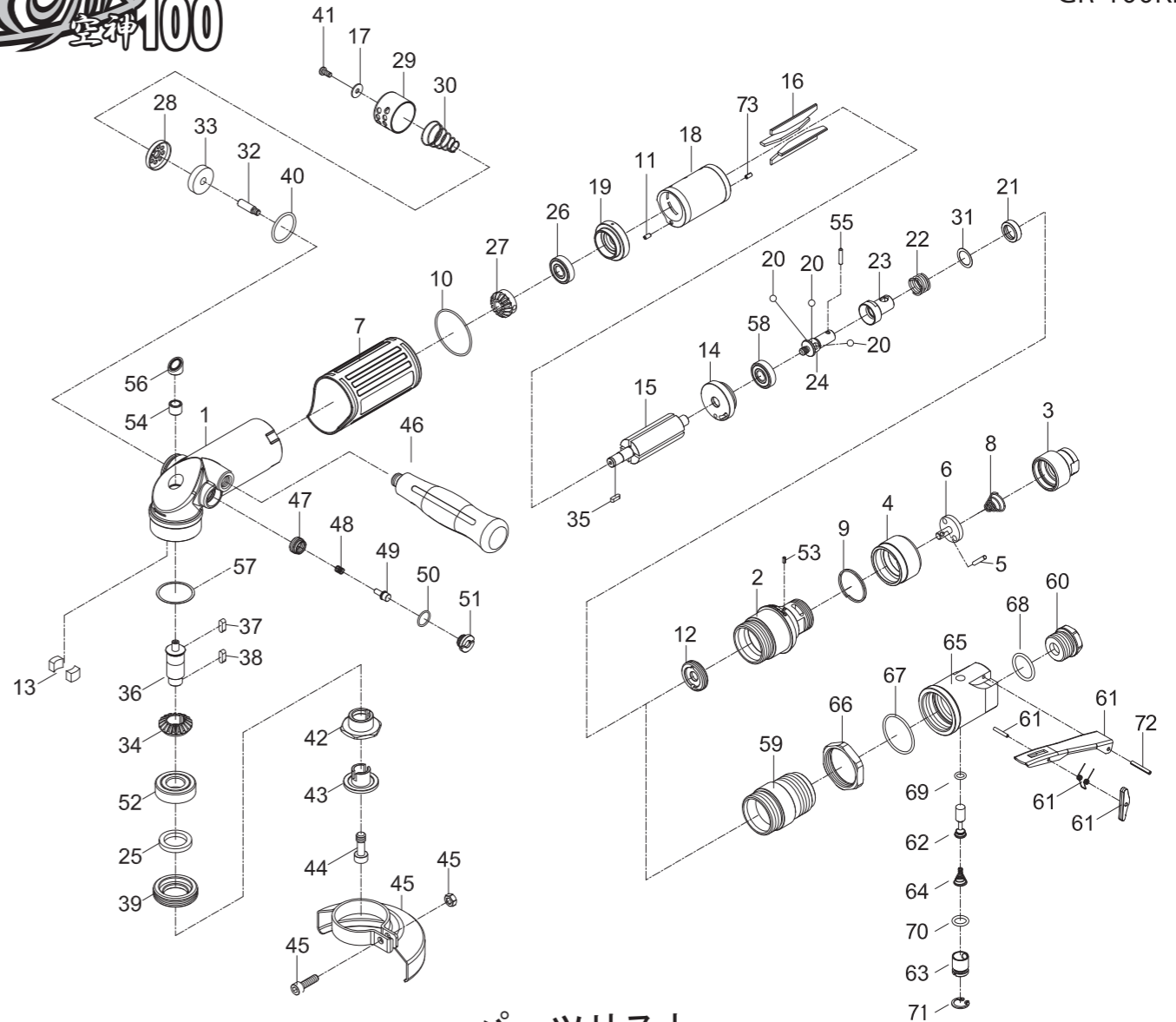
### キックバックとは

回転中の研削砥石や切断砥石に急激に大きな負荷がかかり、グラインダの回転数が急速に低下したとき、反発によって加工物やグラインダが作業者側にはじき飛ばされる現象です。



# 空気式グラインダ 空神100 展開図

対象:GR-100KS、GR-100KL



## パーツリスト

部品番号	品名	部品番号	品名	部品番号	品名	部品番号	品名
1	AG001 ハウジング	20	AG020 スチールボール(3)	39	AG039 ロックナット	59	AG059 インレットガイド
2	AG002 ハウジングカバー	21	AG021 ワッシャ Φ18.9×5.5mm	40	AG040 Oリング Φ23.52×1.78mm	60	AG060 エアインレットL ※AG068 Oリング Φ19.8×2.4mmが含まれます。
3	AG003 エアインレットS	22	AG022 スプリング Φ16×1.6mm	41	AG041 なじ M4×8mm		
4	AG004 スロットルバルブハンドル	23	AG023 バルブ	42	AG042 100mm用ホイルワッシャ	61	AG061 安全レバー
5	AG005 ピン 1/8"×19.05mm	24	AG024 ケース	43	AG043 100mm用ホイルナット	62	AG062 バルブ軸
6	AG006 スロットルバルブ	25	AG025 フェルト	44	AG044 100mm用ホイルナット用ボルト	63	AG063 プッシング Φ13.9×17.3mm
7	AG007 グリップ	26,58	AG026 ベアリング609ZZ	45	AG045 100mm用保護カバー	64	AG064 スプリング Φ11.5×14.9mm
8	AG008 スロットルばね	27	AG027 ベベルギア	46	AG046 ハンドル	65	AG065 バルブハウジング
9	AG009 スプリング Φ31.2×Φ26	28	AG028 排気バルブ	47	AG047 ナット M14×7.6mm	66	AG066 ナット
10	AG010 Oリング Φ34.65×1.78mm	29	AG029 排気カバー	48	AG048 スプリング Φ4.5×9.3mm	67	AG067 Oリング Φ33.5×2mm
11,73	AG011 スプリングピン Φ3×6mm	30	AG030 スプリング Φ23×28.9mm	49	AG049 ストップボタン	68	AG068 Oリング Φ19.8×2.4mm
12	AG012 プッシング Φ27×6.5mm	31	AG031 ワッシャ Φ18×0.2mm	50	AG050 Oリング Φ11.4×1.25mm	69	AG069 Oリング Φ5.28×1.78mm
13	AG013 オイルフェルト(2)	32	AG032 ネジスペーサー	51	AG051 ボタンシート	70	AG070 Oリング Φ10×2.2mm
14	AG014 エンドプレート	33	AG033 マフラー	52	AG052 ベアリング6202ZZ	71	AG071 リングRTW-14
15	AG015 ローター	34	AG034 ベベルギア	53	AM005 スプリングピン Φ2.5×5mm	72	AM041 スプリングピン Φ3×24mm
16	AG016 ベーン(4)	35	AG035 キー 3mm×1mm	54	AG054 ニードルベアリング		
17	AG017 ワッシャ Φ12.7×1mm	36	AG036 スピンドル	55	AG055 ピン Φ3×15.8mm		
18	AG018 シリンダー	37	AG037 キー 4mm×8mm	56	AG056 プラグ		
19	AG019 フロントプレート	38	AG038 ホイルワッシャ用マシンキー	57	AG057 Cバック		

( )内は1台あたりの必要数。記載なしは1。



優れた技術と理想を常に追求する

# ニューレジストン株式会社

統括本部 〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野2丁目1番1号  
TEL.(0725) 51-2292 FAX.(0725) 51-2392  
ホームページ <https://www.newregiston.co.jp/>

お客様相談窓口 研削砥石のご相談窓口です。お気軽に何でもどうぞ!  
☎0120-466-300



260421